

News Release (3) 南丹市

【平成31年1月10日(木) 15時発表】

▼「南丹空き家再生プロジェクト」開始のお知らせ

■内 容

地域おこし協力隊4期生(平成30年9月委嘱)の山内光雅隊員が、市内の空き家の再生を目的とし「南丹空き家再生プロジェクト」を開始しました。

このプロジェクトでは、隊員が市内の活用されていない空き家の改装、管理、紹介のサポートを行います。

その第一弾として、移住希望者向けのシェアハウス兼お試し住居の運用を検討しています。

山内隊員は、京都市内でシェアハウスの経営、神戸市内での古民家改装の実績があり、都会で培ったノウハウを地域に還元し、地域を活性化することを目標に活動しています。

●問合せ先等

- ・南丹空き家再生プロジェクトホームページ

<https://akiya-reuse.com/>

- ・山内隊員連絡先

電話 090-6916-9162

Email yamauchiteam@yahoo.co.jp

◆この記事に関するお問い合わせ

企画政策部 定住・企画戦略課 担当:上林(電話 0771-68-0003)

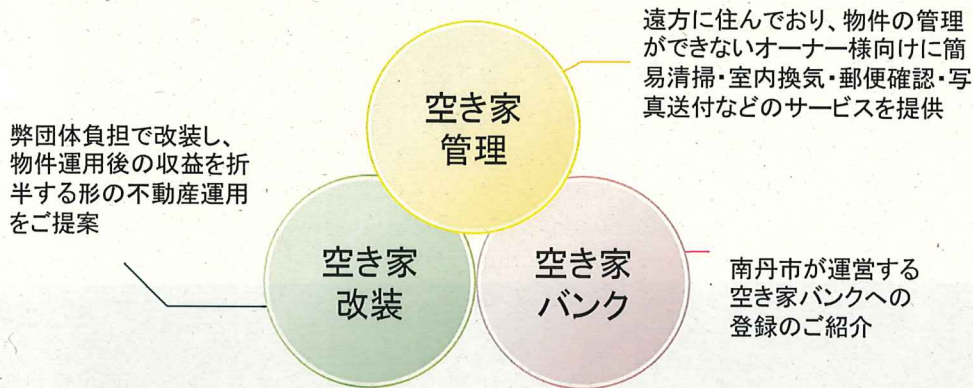
プレスリリースに掲載された内容およびお問い合わせ先は発表現在のもので、その後、予告なしに変更される場合がありますのでご了承ください。

空き家の管理、改装、紹介のサポートします



南丹空き家再生プロジェクト

南丹空き家再生プロジェクトは、南丹市内で使われていない空き家を蘇らせ、次世代へと引き継ぐことを目的とし、管理、改装、紹介を行っております。様々な活用法をご提案しておりますのでお気軽にご相談下さい。



ご挨拶 代表 山内 光雅

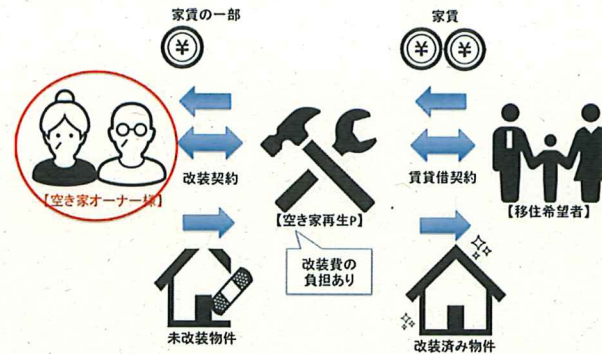
南丹市に移住して来て、すごいなと思ったことが2つあります。1つ目は地元愛の凄さです。市役所の職員さんや各集落の会長さんなど多くの方にお会いしましたが、その地元に対する「熱量の高さ」にとっても驚きました。

2つ目は移住希望者の多さです。南丹市はよく「ちょうどいい田舎」と言われます。



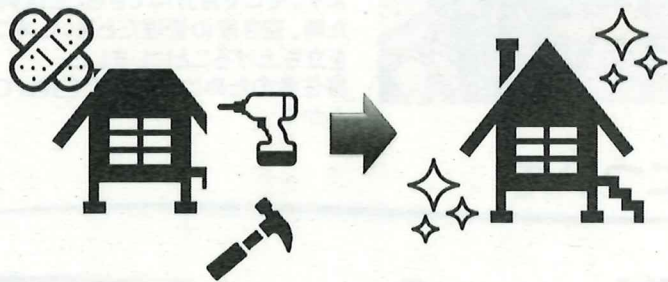
トロコが出てきそうな田舎のあぜ道がある一方、都会(京都市内)にも1時間程度で行くことができ、田舎のスローライフや自給自足に憧れて来る方が非常に多いです。しかし、移住には大きな壁が…。住む家がないんです。素敵な空き家はたくさんありますが、なかなか貸して頂けません。家は人が住まなければすぐに傷んでしまいます。そこで自分にできることは何かと考えた時、空き家の管理だと思い、本プロジェクトを立ち上げることにしました。移住者のためにぜひお家を貸して頂けませんか？

改装について



オーナー様の自己負担なしで空き家をキレイにすることが可能です。その物件の管理をお任せ頂き、第三者に貸し出した後の家賃の一部を頂くことで改装 させて頂いております。

※物件の状況によりお引き受けできないこともございますので予めご了承下さい。



南丹空き家再生プロジェクト

南丹空き家再生プロジェクト

〒629-0301 南丹市日吉町保野田田野3-1 (日吉支所 地域おこし協力隊)

TEL 090-6916-9162 URL <https://akiya-reuse.com>